

令和4年度 功 勞 賞 受 賞 者

(市町村体育・スポーツ協会推薦)

番号	氏 名	ス ポ ー ツ 関 係 歴	推薦団体	推 薦 理 由
1	しまつ りょうへい 島津 良平	平成11年 5月～15年 5月 高島町体育協会 事務局長 平成15年 5月～19年 5月 高島町体育協会 副理事長 平成19年 5月～29年 5月 高島町体育協会 副会長 平成29年 5月～令和 4年 5月 (一社)高島町スポーツ協会 会長 令和 4年 5月～現在 (一社)高島町スポーツ協会 顧問	高島町 スポーツ協会	昭和63年より高島町体育協会の事務局として尽力され、地域スポーツの普及振興に多大な業績を挙げられた。平成19年から副会長を10年、平成29年から会長を5年務められた。永年にわたり、豊富な経験と優れた見識をもって、協会運営と発展に貢献された。
2	えんどう かずひこ 遠藤 和彦	平成20年 4月～令和 4年 3月 小国町スポーツ協会 副会長	小国町 スポーツ協会	平成20年度から7期、14年にわたり小国町スポーツ協会の副会長を務め、けん引役として当協会の発展に尽力してきたほか、各種スポーツ事業との関わりをとおし、町民の健康づくりや地域の元気づくりへ大きく貢献してきた。
3	さか よしわか 坂 義若	平成 5年 4月～25年 3月 三川町体育協会 副会長 平成25年 4月～現在 三川町体育協会 会長	三川町 体育協会	平成5年度から現在まで、30年という長きにわたり三川町体育協会の会長、副会長を歴任され、組織の強化と円滑な運営に尽力されている。地域スポーツの普及と振興に大きく寄与している功績は大である。
4	いがらし けいいち 五十嵐 慶一	平成 9年 4月～21年 3月 三川町体育協会 副会長 平成21年 4月～25年 3月 三川町体育協会 会長	三川町 体育協会	平成9年から平成25年までの長きにわたり、三川町体育協会会長、副会長として、地域スポーツの普及・振興に尽力され、本協会組織の運営、発展に大きく貢献された。

(競技団体推薦)

番号	氏 名	ス ポ ー ツ 関 係 歴	推薦団体	推 薦 理 由
5	さとう たかお 佐藤 孝夫	平成 8年 4月～現在 山形陸上競技協会 強化コーチ 平成13年 4月～15年 3月 山形陸上競技協会 常任理事 平成19年 4月～24年 3月 山形陸上競技協会 常任理事 平成27年 4月～現在 (一財)山形陸上競技協会 副専務理事	山形 陸上競技 協会	平成8年に日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ3(旧日体協公認コーチ)取得以来27年間にわたり、山形陸上競技協会強化コーチとして、陸上競技の普及・育成に携わってきた。また、山形陸上競技協会においては、常任理事として、法人化後は副専務理事として、長年にわたり陸上競技の普及・振興に尽力し、本県陸上競技界の発展に寄与した。
6	さいとう ひでき 齋藤 秀樹	平成 7年 4月～31年 4月 山形県水泳連盟 水球委員長 令和元年 5月～現在 (一社)山形県水泳連盟 理事	山形県 水泳連盟	永年にわたり、水泳・水球指導に携わり、国民体育大会の優勝など各種全国大会でチームを上位入賞に導いた。一方では、YAMAGATAドリームキッズにおいて、選手の発掘及び育成に尽力するなど、水泳・水球競技の普及にも大きく貢献してきた。特に、平成4年本県開催のべにばな国体において、水球山形県チームを監督として率い優勝した。近年では、全日本女子代表コーチとして世界選手権や東京オリンピック選手の指導にあたり、本県出身の三浦里佳子選手をオリンピック出場に導いた。
7	あだち ゆみ 安達 優美	平成 4年 4月～令和 3年 3月 山形県ジュニア体操協議会体操競技女子技術専門委員長 平成15年 4月～令和 3年 3月 東北ジュニア体操連盟体操競技女子技術専門委員長 平成19年 4月～23年 3月 山形県体操協会 普及部長 平成23年 4月～現在 山形県体操協会 事務局長	山形県 体操協会	永年にわたり、本県体操協会常任理事及びジュニア体操競技女子技術専門委員長を務め審判員、選手育成並びに各種大会の運営に尽力した。また、山形県体操協会事務局長として、協会の運営発展に寄与した功績は顕著である。
8	あらた けんじ 荒田 賢二	平成22年 3月～現在 山形県ソフトテニス連盟 副会長 平成22年 3月～現在 鶴岡ソフトテニス連盟 会長	山形県 ソフトテニス 連盟	山形県ソフトテニス連盟副会長、鶴岡ソフトテニス連盟会長として、ソフトテニス競技の普及振興・強化にわたり多大なる貢献をしている。現在は、鶴岡ソフトテニス連盟会長として組織を統括し、ソフトテニスの選手強化・普及発展に向け、先頭に立って活躍・牽引している。
9	すがの しろう 菅野 史郎	昭和55年 4月～28年 3月 山形県卓球協会 評議員・理事 昭和59年 4月～平成31年 3月 山形県卓球協会 理事(国体部長) 平成元年 4月～ 8年 3月 山形県卓球協会 理事(強化部長) 平成 8年 4月～17年 3月 山形県卓球協会 副理事長 (県高体連卓球専門部委員長) 平成28年 4月～現在 山形県卓球協会 副会長 (教職員卓球連盟会長)	山形県 卓球協会	山形県卓球協会理事として長年にわたり活躍し、卓球界の普及、発展、競技力の向上を目指し活躍した。卓球技術の指導には特筆するものがあり、数多くの選手をインターハイで入賞させた。べにばな国体では、本会国体事務局・国体部長・強化部長として卓球競技総合優勝に大きく貢献した。平成8年から8年間、県高体連委員長として数多くの県大会、東北大会を準備から大会運営まで手腕を遺憾なく発揮し、協会役員の前頭に立って大会を成功させた。また、副理事長として、平成13年全国社会人、平成20年全国教職員大会の大会運営において中心的役割を担い、全国大会を成功裡に導いた。

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
10	いけだ どうえつ 池田 藤悦	昭和60年4月～現在 酒田地区野球連盟 審判員 平成元年2年～4年1月 酒田地区野球連盟 強化指導部長 平成4年2月～24年1月 酒田地区野球連盟 事務局長 平成28年2月～令和3年1月 酒田地区野球連盟 副会長 令和3年2月～現在 酒田地区野球連盟 会長 令和3年2月～現在 山形県野球連盟 副会長	山形県 野球連盟	昭和60年酒田地区野球連盟の登録審判員となり、その後、強化指導部長として学童・少年野球の普及・強化に取り組み、平成13年からは酒田地区野球連盟の事務局長に就任、地区野球連盟の事業運営の柱として尽力いただいた。令和3年2月より山形県野球連盟副会長並びに酒田地区野球連盟会長として、酒田地区のみならず、本県野球界へ広く貢献している。永年にわたり、野球競技の普及推進に挺身するとともに、後進の指導、育成に特に尽力し、野球界の発展に大いに寄与しており、その功績は顕著である。
11	さかき ひさかず 榎 寿一	平成元年4月～5年3月 山形県剣道連盟 評議員 平成5年4月～25年3月 山形県剣道連盟 理事 平成25年4月～26年3月 山形県剣道連盟 副会長 平成26年4月～27年3月 山形県剣道連盟 副理事長 平成27年4月～31年3月 山形県剣道連盟 事務局長 平成31年4月～令和4年7月 山形県剣道連盟 理事長 令和3年4月～4年7月 全日本剣道連盟 東北地区理事	山形県 剣道連盟	平成元年から令和4年7月に至るまでの34年間にわたり、山形県剣道連盟の評議員、理事、副会長、事務局長、理事長等の要職を務め、本県の剣道(剣道、居合道、杖道)の振興発展に大きく寄与した。また、全日本剣道連盟の東北地区理事を歴任するなど、本県剣道連盟のみならず、全日本剣道連盟の事業推進においても、多大なる功績を残した。日大山形中学校・高等学校教員としても、永年にわたり、本県剣道競技の普及強化に尽力された功績は大きい。
12	しがなみ おさむ 志賀 浪 納	平成14年4月～令和4年5月 山形県剣道連盟 事務局長	山形県 剣道連盟	平成14年から令和4年5月に至るまでの20年間にわたり、山形県剣道連盟事務局長として、本県の剣道(剣道、居合道、杖道)の振興発展に寄与した。特に、大会・講習会等の運営を中心に、各事業の準備・推進等全ての事業推進に関わり、永く事務局長としてその手腕を発揮し、本県剣道の普及・振興に尽力された功績は極めて顕著である。
13	あすか やすひろ (故)飛鳥 康弘	平成6年1月～19年12月 山形県空手道連盟 理事 平成20年1月～23年12月 山形県空手道連盟 常任理事・選手強化部長 平成24年1月～令和2年12月 山形県空手道連盟 副理事長・強化本部長 令和3年1月～4年8月 山形県空手道連盟 副理事長・審判委員長	山形県 空手道連盟	長年、山形県代表選手として東北総体や国体等で活躍し、特に平成4年のべには国体では団体・個人で優勝した。その後、南陽高等学校空手道部監督として、東北総体・国体・インターハイで活躍する選手を育成した。自チームのみならず、本県指導者の主軸として20年以上選手強化に尽力し、国体コーチ・監督を歴任した。一般、大学、高校の選手はもとより、ジュニア層の育成にも力を注ぎ、東北大会や全国大会で入賞する小中学生選手を育成した。また、審判委員長として本連盟の指導者・審判員の技術向上に貢献、組織運営でも副理事長として運営・発展に貢献した功績は大きい。
14	くまざわ やつほ 熊澤 八穂	昭和55年4月～平成11年3月 山形県なぎなた連盟 理事 平成20年4月～現在 山形県なぎなた連盟 理事 平成22年8月～29年3月 山形県なぎなた連盟 理事長 平成22年5月～29年5月 全日本なぎなた連盟 評議員	山形県 なぎなた連盟	昭和55年から山形県なぎなた連盟理事、平成22年から理事長として本県の要職に就き、東北・全国で活躍する選手の育成・強化に尽力された。べには国体では、成年女子優勝、なぎなた競技総合優勝に貢献した。また、各種全国規模の大会で審判員としても活躍し、2015年なぎなた世界大会では審判員を経験された。山形県の指導者として、審判員並びに選手育成・強化等の功績は極めて顕著である。

令和4年度 功労賞(ライオンズスポーツ賞)受賞者

(競技団体推薦)

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
1	あしの たかし 芦野 貴士	第77回国民体育大会カヌースプリント競技 少年女子カヤック7200m 優勝 橋本碧唯・鈴木葉月・阿部未侑・鈴木紅葉(谷地高) 令和4年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技 女子カヤックシングル200m 優勝 鈴木葉月(谷地高) 男子カヤックペア500m 優勝 押野優太・佐藤仁法(谷地高) 男子カヤック7500m 優勝 押野優太・佐藤仁法・設楽大樹・荒木啓佑(谷地高) 男子カヤック7200m 優勝 押野優太・佐藤仁法・設楽大樹・荒木啓佑(谷地高)	山形県 カヌー協会	県立谷地高等学校カヌー部顧問として、全国高等学校総合カヌー競技において、数多くの優勝・入賞を収め、男女ともに総合優勝を成し遂げた。また、国民体育大会でも、女子カヤックフォアの優勝をはじめ数多くの入賞を収めた。その指導は、選手一人ひとりに合ったプレースタイルを確立させ、チーム全体の底上げに励んでいる。本県スポーツ活動に大きく寄与された。